



☆ 子どもの感染症を予防しましょう ☆

秋らしくなり、各種感染症が流行する時期にもなりました。子どもは病気にかかりながら、徐々に抵抗力を身につけます。ただし、抵抗力の弱い乳幼児期には、重い症状になる感染症は避けたいですね。感染症を防ぐための予防方法を考えてみましょう。

【体でおこること・症状】

【感染予防対策】

第1段階

病原体（ウイルスや菌）の入り口は、口や鼻、のど、気管支などの粘膜です。咳・くしゃみ・たん・鼻水などによって病原体を外に出そうとします。



感染症が流行ってくる時期には

- ①ウイルスや菌をよせつけない
→ マスク・手洗い・うがい
人ごみをできるだけ避ける
部屋の換気
- ②粘膜を助け丈夫にする
→ 保湿・水分補給・ビタミン補給

第2段階

排除しきれなかった病原体は、血液中の「白血球」や「リンパ球」が攻撃します。熱がでたり、腫れたりする炎症反応としてあらわれます。



- ①血液中の白血球やリンパ球を
どンドン作り出す
→ バランスのとれた食事
- ②血液やリンパの流れをよくする
→ 保温
- ③発熱が続く時は、免疫力を助ける
→ 受診をして内服
眠る、部屋で静かに過ごす

第3段階

やっつける相手を学習し、同じ病原体が入ってきた時のために「抗体」を作ります。これにより同じ病気にかかりにくくなり、かかっても重症にならないよう準備をし、こうして強い体をつくります。



予防接種は、重大な感染症にかかる前に、原因となるウイルスや細菌の病原性を弱め、安全な状態で体に入れて「抗体」をつくっていきます。

インフルエンザ

通常11月下旬から3月ごろまで流行し重症化することもあります。

高熱、頭痛、筋肉痛などの全身症状、のどの痛み、せきなどの呼吸器症状があらわれます。

(市ホームページ)

☆インフルエンザ任意予防接種の助成☆

生後6か月～高校生相当まで、10月～12月中に市の指定医療機関で接種される場合は、1回あたり1,500円助成します。

※小学生以下は2回助成します。接種料金は医療機関ごとに異なります。



過去の記事は、天草市のホームページにも掲載していますのでご覧ください。

